

2024年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2024年5月15日

東

上場会社名 Chatwork株式会社
コード番号 4448

上場取引所

URL https://go.chatwork.com/ja/

代表者 (役職名) 代表取締役兼社長上級執行役員CEO (氏名) 山本 正喜

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼上級執行役員CF0 (氏名) 井上 直樹 (TEL) 050(1791)0683

四半期報告書提出予定日 2024年5月15日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け) (百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第1四半期の連結業績(2024年1月1日~2024年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第1四半期	1,934	36.0	124	-	△13	-	△16	-	△43	-
2023年12月期第1四半期	1,422	35.6	0	-	△148	-	△150	-	△148	-

(注) 包括利益 2024年12月期第1四半期 △43百万円(-%) 2023年12月期第1四半期 △151百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第1四半期	△1.07	-
2023年12月期第1四半期	△3.71	-

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

2. EBITDA=営業損益 + 減価償却費及び無形固定資産償却費 + 株式報酬費用。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期第1四半期	6,160	2,408	39.1
2023年12月期	6,273	2,422	38.6

(参考) 自己資本 2024年12月期第1四半期 2,408百万円 2023年12月期 2,422百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2024年12月期	-	-	-	-	-
2024年12月期(予想)	-	0.00	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年12月期の連結業績予想(2024年1月1日~2024年12月31日)

2024年2月9日に開示しました連結業績予想からの変更はございません。2024年12月期においてはビジネスチャットツール「Chatwork」の普及とBPaaSのミナジンおよびChatwork アシスタントへの投資と利益を生み出す体制の構築を進めることで、引き続き高い成長率の維持と収益性の改善を同時に進めてまいります。通期の業績見通しについては以下の通りでございます。

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		EBITDA	
	百万円	%	百万円	%
通期	-	30.0~	300~	-

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年12月期 1 Q	40,708,194株	2023年12月期	40,627,295株
② 期末自己株式数	2024年12月期 1 Q	38,288株	2023年12月期	25,201株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年12月期 1 Q	40,629,100株	2023年12月期 1 Q	39,963,202株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についての注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	8
(追加情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは「働くをもっと楽しく、創造的に」というミッションのもと、人生の大半を過ごすことになる「働く」という時間において、ただ生活の糧を得るためだけではなく、1人でも多くの方がより楽しく、自由な創造性を存分に発揮できる社会を実現することを目指し、仕事の効率化や創造的な働き方を実現するサービスの開発・提供に取り組んでおります。

このようなミッションのもと、現在の主力サービスであるビジネスチャットツール「Chatwork」は国内中小企業を中心とした顧客企業の労働生産性の向上や働き方の多様性を提供しており、国内利用者数N01（注1）のサービスとなります。中長期のビジョンとしてこのビジネスチャットの中小企業市場における圧倒的なシェアを背景に、あらゆるビジネスの起点となるビジネス版スーパーアプリとしてプラットフォーム化していく事でさらなる中小企業のDX化に貢献してまいります。

当第1四半期連結累計期間においては、引き続き「Chatwork」の普及とビジネスチャットのプラットフォームを活かした周辺サービスの拡大に投資をおこなってまいりました。前期に実施した価格改定によるARPUの上昇、2023年2月に連結子会社化した株式会社ミナジによる人事労務領域へのサービス拡張、2023年6月にBPaaS（注2）の自社サービスとしてリリースした「Chatwork アシスタント」等の施策により事業は順調に拡大しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は1,934,557千円（前年同四半期比36.0%増）、EBITDA（注3）124,756千円（前年同四半期は243千円の損失）、営業損失13,698千円（前年同四半期は148,583千円の営業損失）、経常損失16,922千円（前年同四半期は150,760千円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失は43,551千円（前年同四半期は148,108千円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメント別の経営成績は次の通りであります。

(Chatworkセグメント)

売上高は1,896,896千円（前年同四半期比39.1%増）、セグメント損失は18,725千円（前年同四半期は171,703千円のセグメント損失）となりました。

Chatworkアカウント事業のARR（注4）、課金ID数、ARPU推移

	2021年12月期 第4四半期	2022年12月期 第4四半期	2023年12月期 第4四半期	2023年12月期 第1四半期	2024年12月期 第1四半期
ARR（百万円）	3,447	4,425	6,180	4,639	6,285
課金ID数（万）	54.7	66.8	73.1	69.9	74.3
ARPU（円）	529.4	547.4	672.4	544.7	687.4

(セキュリティセグメント)

セキュリティセグメントについては、引き続き当社としては積極的な事業拡大は行わない方針としております。その結果、売上高は37,660千円（前年同四半期比37.0%減）、セグメント利益は5,026千円（前年同四半期比78.3%減）となりました。

(注) 1. Nielsen NetView 及びNielsen Mobile NetView Customized Report 2023年5月度調べ月次利用者（MAU:Monthly Active User）調査。調査対象はChatwork、Microsoft Teams、Slack、LINE WORKS、Skypeを含む44サービスをChatwork株式会社にて選定。

2. Business Process as a Serviceの略。ソフトウェアの提供ではなく、業務プロセスそのものを提供するクラウドサービスであり、クラウド経由で業務アウトソーシング（BPO）が可能

3. EBITDA=営業損益+減価償却費及び無形固定資産償却費+株式報酬費用

4. Annual Recurring Revenueの略。毎年継続して発生する収益 MRR（Monthly Recurring Revenue、毎月繰り返し得ることのできる売り上げ）の12倍

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べて112,894千円減少し、6,160,596千円となりました。これは主に、前払費用が140,264千円減少したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて99,484千円減少し、3,751,787千円となりました。これは主に、長期借入金が51,648千円減少、契約負債が24,631千円減少、流動負債その他が20,827千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて13,409千円減少し、2,408,809千円となりました。これは主に、資本金が15,070千円増加、資本剰余金が15,070千円増加、利益剰余金が43,551千円減少したことによるものであります。この結果、自己資本比率は39.1% (前連結会計年度末は38.6%) となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年2月9日に開示しました業績予想からの変更はございません。当社グループの中期経営計画では2026年12月期までに中小企業No.1 BPaaSカンパニーのポジションを確立し、長期的には中小企業市場における圧倒的なシェアを背景に、あらゆるビジネスの起点となるビジネス版スーパーアプリとしてプラットフォーム化していくことを目標としております。2024年12月期から2026年12月期では、中小企業No.1 BPaaSカンパニーの目標に向けてグループ全体の成長を加速させると共に、利益を生み出せる体制の構築を進めてまいります。

中期目標としては2023年12月期から2026年12月期までの連結売上高CAGR30%以上、2026年12月期において売上高150億円、EBITDAマージン10～15%を目指しております。なお、本目標には将来のM&Aは含まないオーガニックグロースの数値であり、実施した場合には見直しをおこなうことといたします。

上記方針に基づき、2024年12月期においてはビジネスチャットツール「Chatwork」の普及とBPaaSのミナジンおよびChatwork アシスタントへの投資と利益を生み出す体制の構築を進めることで、引き続き高い成長率の維持と収益性の改善を同時に進めてまいります。通期の業績見通しは以下の通りでございます。

	2024年12月期
連結売上高	+30%以上
EBITDA	3億円以上

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,102,487	2,174,110
売掛金	432,075	426,174
前払費用	608,346	468,081
その他	74,311	39,634
貸倒引当金	△254	△254
流動資産合計	3,216,966	3,107,747
固定資産		
有形固定資産	11,080	9,051
無形固定資産		
ソフトウェア	465,353	399,962
のれん	1,029,292	999,500
その他	704,248	793,086
無形固定資産合計	2,198,894	2,192,549
投資その他の資産	846,549	851,247
固定資産合計	3,056,524	3,052,849
資産合計	6,273,490	6,160,596
負債の部		
流動負債		
未払金	273,017	316,077
未払費用	216,809	200,557
未払法人税等	43,990	30,717
契約負債	1,565,770	1,541,139
賞与引当金	26,113	17,061
短期借入金	1,300	400
1年内返済予定の長期借入金	262,336	259,327
その他	157,304	136,476
流動負債合計	2,546,641	2,501,757
固定負債		
長期借入金	1,114,924	1,063,276
繰延税金負債	117,432	114,199
退職給付に係る負債	2,274	2,554
その他	70,000	70,000
固定負債合計	1,304,630	1,250,030
負債合計	3,851,271	3,751,787
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,748,254	2,763,324
資本剰余金	2,734,114	2,749,184
利益剰余金	△3,060,060	△3,103,612
自己株式	△88	△88
株主資本合計	2,422,218	2,408,809
純資産合計	2,422,218	2,408,809
負債純資産合計	6,273,490	6,160,596

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2023年1月1日 至2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2024年1月1日 至2024年3月31日)
売上高	1,422,986	1,934,557
売上原価	503,449	666,020
売上総利益	919,536	1,268,537
販売費及び一般管理費	1,068,119	1,282,236
営業損失(△)	△148,583	△13,698
営業外収益		
受取利息	85	8
助成金収入	1,213	—
ポイント収入額	493	1,745
雑収入	162	59
営業外収益合計	1,954	1,813
営業外費用		
支払利息	3,593	3,918
為替差損	51	118
株式交付費	70	—
その他	416	1,000
営業外費用合計	4,132	5,037
経常損失(△)	△150,760	△16,922
税金等調整前四半期純損失(△)	△150,760	△16,922
法人税、住民税及び事業税	1,697	16,172
法人税等調整額	△1,022	10,455
法人税等合計	675	26,628
四半期純損失(△)	△151,436	△43,551
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△3,328	—
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△148,108	△43,551

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
四半期純損失(△)	△151,436	△43,551
四半期包括利益	△151,436	△43,551
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△148,108	△43,551
非支配株主に係る四半期包括利益	△3,328	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計 (注)
	Chatworkセグメント	セキュリティセグメント	計	
売上高				
一時点で移転される財	49,702	59,781	109,484	109,484
一定の期間にわたり移転される財	1,313,502	—	1,313,502	1,313,502
顧客との契約から生じる収益	1,363,204	59,781	1,422,986	1,422,986
その他の収益	—	—	—	—
外部顧客への売上高	1,363,204	59,781	1,422,986	1,422,986
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	1,363,204	59,781	1,422,986	1,422,986
セグメント利益又は損失(△)	△171,703	23,120	△148,583	△148,583

(注1)セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(注2)当社における主力事業はChatworkセグメントであり、本社機能も含めて間接費の全てがChatworkセグメントの維持・拡大の為に費やされていることから、間接費の全額をChatworkセグメントにて計上しております。

当第1四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計 (注)
	Chatworkセグメント	セキュリティセグメント	計	
売上高				
一時点で移転される財	71,506	37,660	109,167	109,167
一定の期間にわたり移転される財	1,825,389	—	1,825,389	1,825,389
顧客との契約から生じる収益	1,896,896	37,660	1,934,557	1,934,557
その他の収益	—	—	—	—
外部顧客への売上高	1,896,896	37,660	1,934,557	1,934,557
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	1,896,896	37,660	1,934,557	1,934,557
セグメント利益又は損失(△)	△18,725	5,026	△13,698	△13,698

(注1)セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(追加情報)

(会社分割による連結子会社新設)

当社は、2024年2月9日開催の取締役会において、当社のBPaaS (Business Process as a Service) 事業を、2024年4月1日を効力発生日とする新設分割（以下「本分割」といいます。）の方法により、当社が新たに設立する新設分割設立会社（以下「新会社」といいます。）に承継させることを決議し、2024年4月1日に設立いたしました。本分割により、株式会社ミナジンは、当社の100%子会社から、新会社の100%子会社となり、当社の孫会社となります。

(1) 本分割の目的

当社は、顧客の業務効率と生産性向上をサポートするため、経理業務や労務業務等のノンコア業務について、ソフトウェアの提供にとどまらずそれら業務のビジネスプロセスそのものをサービスとして提供するBPaaS事業を展開して参りました。具体的には、2023年2月にクラウド型就業管理・人事評価システム、労務アウトソーシングを提供する株式会社ミナジンを連結子会社化し、2023年6月には、当社にてバックオフィスの非専門領域全般の支援等を行うChatwork アシスタントをリリースいたしました。

本分割は、今後、当社としてBPaaS事業を拡大していくにあたり、BPaaS事業を別法人にて行うものとするグループ体制の再構築を行うことで、経営の効率化や市場環境の変化に柔軟に対応できる機動的な事業運営を実現し、当社グループの企業価値の更なる向上を目指すことを目的としております。

(2) 本分割により新設される企業の名称

株式会社kubellパートナー

(3) 会社分割する事業の内容及び規模

① 会社分割する事業の内容

BPaaS事業

② 会社分割する事業が属するセグメント

Chatworkセグメント

③ 会社分割する事業の経営成績

売上高 46,837千円 (2023年12月期)

④ 分割する資産、負債の項目及び金額 (2024年3月末時点)

資産		負債	
流動資産	506,638千円	流動負債	45,410千円
固定資産	683,233千円	固定負債	70,000千円
合計	1,189,871千円	合計	115,410千円

(4) 本分割の方式

本分割は、当社を分割会社とし、新会社を承継会社とする簡易新設分割であり、新会社は、当社の100%連結子会社となります。

(5) 本分割の日程

効力発生日	2024年4月1日
-------	-----------

※本分割は、会社法第805条の規定する簡易分割であるため、株主総会承認決議を経ずに実施しております。